

Business Gallery

第378回

アイデアル (株)

—— 社会貢献と業績拡大の両立を目指す



代表取締役 田中 博 社長

今回紹介するアイデアル (株) は、ノンアセット型の物流業者。ネット通販に関する物流のコンサルタント、およびEC取引における商品の注文受け付けから配送完了まで一括して請け負うこともある。そんなアイデアルのもうひとつの事業の柱が児童福祉事業。代表取締役である田中博社長の想いもあって、社会貢献と業績拡大の両立を目指し日々奮闘中だ。

当社は2013年 (平成25年) 3月の設立。大手物流企業で店長を務めた田中社長が立ち上げた。「EC業界におけるフルフィルメントサービスを手がけています」(社長) というように、運送や倉庫管理にはじまり、DM発送、付帯する印刷業務、梱包資材の手配など、物流に関して幅広い作業をカバーする。得意先は通販業者が多くを占め、顧客の物流業務に対する各種の提案やサポート、システム構築、コンサルタントを行っている。

転機となったのは2017年。新たな事業を模索していた田中社長が「コペルプラス」と出会う。児童発達支援の療育事業を展開する (株) コペル (実質本社: 福岡市中央区) の考えに共鳴し、実際に教室 (児童発達支援通所事業所) の現場に出向き、「これだ!」と確信。同社のFCとして教室を開くことになった。「元々サラリーマン時代から、女性の働く環境については改善の余地を感じていました。先生 (児童指導員) として女性がイキイキとして働ける職場、やりがいを持って働ける事業、コペルプラスの現場はまさにそんな場所でした」(社長)。

発達障害の児童支援を強化する目的もあって、児童福祉法が改正を重ね、今では児童発達支援ス

クール数は多くなってきた。こうした福祉を重んじる時代背景も田中社長の考えと合致した。学力を育てる「知育」だけでなく、人格を育てる「徳育」の重要性。コペルプラスにはそうした理念を感じたという。「福祉と女性活躍」という、時代の要請であり、かねがね心に抱いていた社会的課題解決への想い。「経営者自身が社会問題としっかり向き合う必要がある」というのが社長の持論。世の中に誇れる、そして社会に貢献できるような会社を目指すとして、この児童福祉事業は今後さらに注力していく構えである。

現在、FCとして運営している教室 (コペルプラス) は、埼玉県内に3カ所、東京都内で1カ所。「今年都内で2カ所開く予定で、その後も徐々に増やしていきたい」(社長) とのこと。職場環境の良さには相当の自信がありそう。フランチャイザーの立場であるコペル社も教室の拡充には積極的で、今後は教室数の拡大にともなって発生する物流業務を請け負うことで、会社全体の売り上げアップにもつなげていきたいとしている。

企業概要

アイデアル (株)

企業コード: 866009016

法人番号: 5030001096492

所在地: 比企郡鳩山町大豆戸4-7

代表者: 田中 博氏

設立: 2013年 (平成25年) 3月

年収入高: 約6億1700万円 (2020年2月期)

URL: <http://ideal-exp.com/>